

コミュニティ・スクールだより

No5

地域学校協働活動の様子

地域の住民や団体の皆様の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えていただいております。どの取組も、地域との“つながり・きずな”が実感できるものです。その一部を紹介します。

生きものとなかよし（生活科）

1・2年生の生活科では、生き物に親しんだり生き物を大切にしたりする学習をしています。9月初旬、2年生が隣接する三ツ城古墳公園で「生きものとなかよし」の学習を行いました。身近な公園で“虫探し”をしようと計画したものです。今回の学習には、地域の自然や虫などに詳しいネイチャーズの方々と広島大学の学生さんの協力を得ました。ネイチャーズは、主に東広島市内で身近な環境に関わる活動（環境イベントの開催・環境調査や結果を受けての啓発活動・環境保全活動など）をされている団体です。

はじめに活動範囲や虫を探したりとったりする際のこつや注意点などを聞き、各自虫取り網と虫かごを持って虫探しを始めました。すぐに「いた いた」と言って虫かごに捕獲した虫を入れ始めました。1時間ほどの活動でしたが、子供たちが持ち寄った虫の種類を数えてみると20～30種類ほどでした。「この公園には、こんなにたくさんの種類の虫がいるんだ。」と驚いている子もいました。

学習を支援してくださったネイチャーズの方々と広島大学の学生さん、ありがとうございました。



三ツ城調査隊（総合的な学習の時間）

4年生は総合的な学習の時間「三ツ城調査隊 ―三ツ城地域のひみつ―」として、県内最大の前方後円墳といわれている“三ツ城古墳”，奈良時代聖武天皇により建立された“安芸国分寺”，戦国時代の山城“鏡山城”について調べまとめる学習をしています。。今回の授業では、地域の歴史に詳しい東広島郷土史研究会 福村博士様、渡辺良範様にご来校いただき、交通の要所に位置し政治的拠点であった“鏡山城”を巡って行われたの戦いの様子についてお話をうかがいました。

現在“鏡山城”周辺は城址公園として整備されており、春は桜、秋は紅葉と時折々に美しい景観を見せてくれています。子供たちの多くは、場所的に学区の近くということもあり、なじみのある公園でもあります。今は平和でのどかな地ではありますが、約500年前、山陽・山陰の領有権を争っていた周防・長門の大内氏と出雲の尼子氏とが、“鏡山城”の覇権をめぐって戦火（鏡山城の戦い）を交えています。このことは、近年の発掘調査でも明らかになっています。

今後、子供たちは“鏡山城”跡地やその周辺に出向き、さらに詳しくお話しを伺う予定としております。ご支援ご協力、ありがとうございました。

